熊本市立植木北中学校学校だより　第２号

日　進　月　歩

令和８年４月２１日（火）
校長　坂本正二
「可能性は無限大」
植木北中 HP→

対面式～新入生を温かく歓迎～

4月14日（火）、2・3年生が新入生に向けて、生徒会活動や部活動について紹介する対面式が行われました。生徒会紹介では、各委員会の委員長・副委員長が、活動について要点を絞り、わかりやすく説明しました。続いて行われた部活動紹介では、各部がパフォーマンスを交えながら、活動内容をユーモアたっぷりに紹介し、会場は大いに盛り上がりました。新入生代表生徒は、「わからないことや不安なこともありますが、先輩方の姿を見て、中学校での生活がとても楽しみになりました。これからもよろしくお願いします」と、感謝の言葉を述べました。

この対面式は、生徒会が主催する行事です。対面式を終えて、生徒会会長・副会長・書記を務める三役5名に、感想と今後の抱負を聞きました。「1年生が学校のことを知り、早く慣れてほしいという思いで開催しました。」「各委員会や各部が大きな声で、わかりやすく活動を紹介してくれたので、その思いが1年生にしっかり伝わったと思います。これから仲良く、一緒に頑張っていきたいです。」また、「2・3年生が先輩としての手本となる姿を見せてくれました。みんながコミュニケーションを取り合い、一人ひとりの考えや意見を大切にできる生徒会にしていきたいです」「挨拶や返事、礼儀を大切にする生徒会を目指します」といった声も聞かれました。さらに、「例年通りの活動だけでなく、新しい取り組みやイベントにも挑戦していきたい」「まずは、次の体育大会を生徒会が中心となって盛り上げ、成功につなげていきたい」と今後への意欲も聞かれました。

新入生を笑顔で迎え入れたいという上級生の思いが詰まった、温かい対面式であったと思います。

続けることの大切さ

学力の向上は、本校にとって重要な課題の一つです。本校の生徒は素直で明るく、毎日楽しく学校生活を送っており、学校全体が温かく穏やかな雰囲気に包まれています。

その一方で、学力向上については、継続的に、重点的に取り組んでいかなければならないと感じています。

そこで、今年度から、水曜日の始業前15分間、また月・火・木・金曜日には帰りの会前の10分間を活用し、自主学習の時間を設けました。

朝は、新聞のコラムの視写や教科のワーク、夕方はタブレット端末の学習アプリを使った学習や読書に取り組んでいます。1回あたりは10分、あるいは15分という短い時間ですが、「継続は力なり」という言葉の通り、継続することで大きな力になると考えています。継続して取り組む習慣を身に付けるため、帯活動として実施しています。

先日、新聞記事の中で、お笑い芸人の川島明さんのコメントが掲載されていました。川島さんは、平日の朝に放送される帯番組を5年間続けています。毎朝8時開始の番組なので、5時から6時の間にテレビ局に入り打ち合わせ等を行っていることが想像できます。その継続を称賛された際、川島さんは「世間の人はみんな帯番組をやっているようなもの。自分なんて何も大変じゃない」と答えたそうです。続けることを大切にしている川島さんだからこそ、このようなコメントが出るのだと感じました。毎朝早起きし、その日1日仕事や勉強に励む人々への励ましともとれる言葉です。続けることはとても意義深いことです。1日「たかが10分。されど10分」です。学校では帯活動をさらに充実させていければと思っています。ご家庭においても、学習のための「帯時間」を意識していただければ幸いです。ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。